

単元名

世界の古代文明と宗教のおこり

1 単元のねらい

世界の古代文明や宗教のおこりについて調べることを通して、地球上に人類が出現してから、世界各地で様々な特色をもった古代文明や宗教が出現したこと、それらには都市や建造物、政治制度や宗教の考え方など共通する特徴があることに気付き、場所は違っても、人類は集まることによって組織や仕組みを築き、ある程度共通した考えを信じることによって文明を発展させ始めたということを理解することができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

●学習改善につなげる評価

○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	単元まとめ
知識・技能	●		●	●○	●	○
思考・判断・表現		●		●	●○	○
主体的に学習に 取り組む態度	●					○

3 単元構造図 (全6時間) ☆基礎的・基本的な知識, 概念や技能

単元名

世界の古代文明と
宗教のおこり

単元学習前の生徒の認識 小学校で、歴史の大まかな流れについては勉強してきたけれど、いよいよ本格的に詳しい歴史を学ぶことになる。まずは、どうやって人類が生まれてきたかや国などがどうやってできたかについて、しっかりと学んでいきたい。

第1時 人類の出現と進化 【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

人類はどのように進化し、生活していたのか。 ☆人類の種類 ☆旧石器・新石器の時代区分 ☆土器

アフリカで出現した猿人は、前足で道具を使い、知能を発達させていった。そこから進化した原人は打製石器を用いた。さらに人類は火や言葉を使い、新人となって世界中に広がっていった。1万年ほど前には土器や磨製石器を使う新石器時代へと移っていった。人類は、ここからどのように生活をつくりあげていくのだろうか。

第2時 古代文明のおこりと発展 【●思考・判断・表現】

古代文明はどこでおこり、どのような特色をもっていたのか。 ☆古代文明の位置 ☆古代文明の共通点(大河・文字)

人類が集団で生活する中で、貧富の差が生まれ、指導者が現れて国のまとまりができた。特にアフリカやアジアの大河のほとりでは、エジプト、メソポタミア、インダス、中国の4つの文明が生まれた。場所や制度は違うけれど、都市や文字、法律をつくったことは共通している。人が集まって生み出す仕組みは、似ているのなのかもしれない。

第3時 中国文明の発展

【●思考・判断・表現 ●知識・技能】

古代の中国では、どのような文明がおこったのか。

☆中国の統一 ☆儒学の広がり

☆シルクロードのつながり

中国では、黄河や長江の流域で農耕文明が栄えた。殷では、青銅器や甲骨文字などが用いられ、占いで政治を行った。次に成立した周は弱く、春秋戦国時代となって、鉄器、農業、商業が広がった。また孔子が儒学を広めたことが社会に影響を与えた。その後の秦は、始皇帝が様々なものを統一し、強力な支配を行ったが、すぐに滅び、次の漢は支配を広げて大帝国となり、シルクロードを通して各地と交流を行った。中国の文明は、国がどんどん変わっているが、この後も、国を変えながら続いていくのだろうか。

第4時 ギリシャ・ローマの文明

【●思考・判断・表現 ●○知識・技能】

ギリシャ、ローマの文明はどのような特色を持っていたのか。

☆政治制度 ☆ヘレニズム ☆ローマ帝国

地中海周辺に生まれたギリシャ・ローマでは、都市や農業、学問などが発達し、戦いも起きており、これまでの文明と共通点がある。ヘレニズムの芸術はインドや中国、日本に伝えられた。また、政治の仕組みが整えられたことが特徴的である。ギリシャでは、市民全員で話し合う民主政が行われ、ローマでは貴族を中心とする共和政から、皇帝中心の帝政へと変化した。少し仕組みとしては違っても、みんなで物事を決めたり、誰か一人がすべて決めたりするやり方は、今の時代にも似たものがあると思う。

第5時 宗教のおこりと三大宗教

【●主体的に学習に取り組む態度 ●○思考・判断・表現 ●知識・技能】

古代には、どのような宗教が生まれたのか。

☆仏教 ☆キリスト教 ☆イスラム教 ☆各宗教の発祥地

古代の人々が宗教を生み出し、信じてきたのは、自然の働きや人間以上の存在を神として、神の教えや神への祈りをまとめてきたからだ。そして、そうやってまとめられたものが共通した考え方になり、文明の中で広がって、文明を安定させる力にもなっていった。紀元前5世紀ごろのインドでシャカが仏教を開き、苦しみを乗り越えたり、他者を救ったりすることを教え、東南アジアや中国、日本にも広がった。またパレスチナではユダヤ教を基にしてイエスがキリスト教を開き、神の存在や弱者への思いやりを説いた。アラビア半島ではムハンマドがイスラム教を開き、神を特に重視した教えを広めた。

第6時 まとめ学習

【○主体的に学習に取り組む態度 ○思考・判断・表現 ○知識・技能】

これまでの学習を振り返り、人類の文明の歴史はどのように始まったのかについてまとめよう。

単元学習後の生徒の認識 猿人から始まった人類は、道具や言葉を用いる中で進化し、世界各地に文明を築くようになった。エジプト、メソポタミア、インダス、中国の4つの文明は大河のほとりに発達し、都市や建造物、文字などを発展させた。また、少し遅れてギリシャやローマでも文明は発達し、民主政や共和政、帝政など様々な政治の仕組みで国を動かした。世界各地では、自然の働きから人間を超える力を感じ、宗教が生み出され、仏教、キリスト教、イスラム教が文明の近くで広く信仰されるようになった。人類は、集団で仕組みを発達させたり、同じような宗教を信じたりしながら、文明を発展させてきた。遠い昔のことだと思っていたけれど、今だって、私たちは同じ仕組みや共通した考え方と一緒に生きている。これから先の勉強も、今につながることを見いだしながら取り組んでいきたい。

世界の古代文明や宗教は、どのような地域や環境の下でおこったのか。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助	
<p>1 人類の出現と進化</p>	<p>人類がどのように出現し、進化してきたのかを調べることを通して、アフリカに現れた人類が、道具や火、言葉などを使いながら脳を発達させ、世界中に広がっていったことに気づき、その後の人類がどのようにになっていくのかといった興味から単元を貫く課題を設定することができる。</p> <p>☆猿人 ☆原人 ☆新人 (ホモ・サピエンス) ☆旧石器時代 ☆新石器時代 ☆打製石器 ☆磨製石器 ☆土器</p>	<p>1 「サヘラントロプス・チャデンシスはサルか人か」という問いについて考える。 ○サルである ・サルと人間はよく似ているから。 ・サルも道具を使うから。 ○サルではない ・サルは直立して歩けない。 ・動物園のサルは人間にはならない。 →人間の祖先はサルによく似た「猿人」。</p> <p>人類はどのように進化し、生活していたのか。</p> <p>2 旧石器時代の暮らしを確認する。 ・直立二足歩行・道具、石器（打製石器） ・火を使う・言葉の使用 ・獲物を求めて移動 ・簡単な小屋や岩陰に住む</p> <p>3 新石器時代について確認する。 ・農耕・牧畜のはじまり ・磨製石器の使用 土器の使用</p> <p>4 全体交流後、課題についてまとめる。</p> <p>アフリカで出現した猿人は、前足で道具を使い、知能を発達させていった。そこから進化した原人は打製石器を用いた。さらに人類は火や言葉を使い、新人となって世界中に広がっていった。1 万年ほど前には土器や磨製石器を使う新石器時代へと移っていった。人類は、ここからどのように生活をつくりあげていくのだろうか。</p> <p>5 単元を貫く課題を確認する。</p> <p>世界の古代文明や宗教は、どのような地域や環境の下でおこったのか。</p>	<p>・資料読みに意欲的に取り組んだり、わかったことを自分の言葉で説明しようとしたりして、人類の出現と進化について追究しようとしている。(態度) ・人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。(知技)</p> <p>態度＝授業の様子 知識＝発言、ノート</p>	<p>◇サテラントロプス・チャデンシ ◇人類の進化順 ◇打製石器 ◇石器の使われ方 ◇ラスコー洞窟の壁画 ◇磨製石器 ◇土器 ◇新人の出現と広がり</p> <p>イラスト、写真から猿人から新人までの生活の様子を対応させて読みとるように指導する。</p>	
	<p>2 古代文明のおこりと発展</p>	<p>世界に出現した古代文明について調べることを通して、人類は農耕や牧畜を発展させ、エジプト、メソポタミア、インダス、中国の大河のほとりに文明をつくったこと、それぞれが都市や文字、法律などをつくったことに気づき、独自の文明をつくりつつも、その成り立ちや仕組みには共通点がある</p>	<p>1 新石器時代について確認する。 ・農耕・牧畜のはじまり ・磨製石器の使用 土器の使用</p> <p>2 4つの文明を紹介する。 ○エジプト文明 ○メソポタミア文明 ○インダス文明 ○中国文明</p> <p>古代文明はどこでおこり、どのような特色もっていたのか。</p> <p>・大河の近くで発生。 ・文字の発明。 ・大きな建造物がある。 ・北半球で起こっている。</p> <p>3 文明が大河のほとりで発生した理由を考える。 ・たくさんの人が生活するにはたくさんの水が必要。農耕をするには水がいるから。</p>	<p>・古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所、つくりだした仕組みなどの共通点に着目して考え、表現している。(思判表)</p> <p>思考＝発言、ノート</p>	<p>◇古代文明の位置 ◇ギザのピラミッド ◇古代エジプトの農業をえがいた壁画 ◇ナイル川 ◇ウルのジグurat ◇ハンムラビ法典 ◇くさび形文字 ◇モヘンジョ・ダロの都市遺跡 ◇インダス文字</p> <p>文明の場所に注目するとともに、共通する要素を考えながら古代文明の特色についてつか</p>

	<p>ことを考え、表現することができる。</p> <p>☆牧畜・農耕 ☆青銅器・鉄器 ☆エジプト文明 ☆メソポタミア文明 ☆インダス文明 ☆太陽暦・太陰暦 ☆象形文字 ☆くさび形文字 ☆古代文明の共通点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな川の近くには平野ができるから、たくさんの人が住める。 ・洪水を活用したり、防いだりするのによくの人や指導する人が必要になる。→技術や文字の発達。 ・農作物や土地をめぐる争いから、リーダーが出現。 <p>4 全体交流後、課題についてまとめる。</p>		<p>めるように指導する。</p>
<p>3 中国文明の発展</p>	<p>中国に出現した古代文明とその変遷について調べることを通して、中国の古代の国それぞれの特色や道具や思想におけるつながりに気づき、古代の中国では、エジプト、メソポタミア、インダスなどと異なり、国家が変遷しながらもつながりをもって文明が続いていったことを理解できる。</p> <p>☆中国の統一(殷・周・秦・漢) ☆甲骨文字 ☆儒学の広がり ☆孔子 ☆始皇帝 ☆シルクロードのつながり</p>	<p>1 年表から、中国文明の発生した時期を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卑弥呼の時代よりもずっと昔だ。 ・日本はまだ狩りをしている時代だな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>古代の中国では、どのような文明がおこったのか。</p> </div> <p>2 写真や資料から、中国文明と中国の古代王朝について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殷とよばれた国があり、甲骨文字がつけられた。 ・周の時代に鉄製の農具や武器が普及した。 ・孔子が儒学を説いた。 ・秦の始皇帝が中国を統一した。→万里の長城 ・漢は巨大な帝国を作った。→漢字・シルクロード ・シルクロードを通して各地とつながった。 <p>3 全体交流後、課題についてまとめる。</p>	<p>中国の古代文明について、殷から漢までの流れ、シルクロードによる各地とのつながりを理解している。(知技)</p> <p>知識＝ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇兵馬俑 ◇始皇帝のますとおもり ◇甲骨文字 ◇青銅器 ◇万里の長城 ◇孔子 ◇紀元前2世紀末の世界 <p>中国文明の特色を前時の文明との共通点に着目して調べられるように指導する。</p>
<p>4 ギリシャ・ローマの文明</p>	<p>地中海周辺に出現したギリシャ・ローマの文明について調べることを通して、アジアやアフリカに出現した文明と都市や農業、学問などの発達点で共通点があることや、それぞれの政治</p>	<p>1 オリンピックについて知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年に東京で行われる。 ・4年に1回行われる。 ・入場国の先頭はギリシャ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>ギリシャ・ローマの文明にはどのような特色があるのだろうか。</p> </div> <p>2 写真や資料から、ギリシャ・ローマの文明について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料などから、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。(知技) ・ギリシャ・ローマ文明の特色に 	<ul style="list-style-type: none"> ◇アクロポリスとパルテノン神殿 ◇ミロのビーナス ◇古代ギリシャ人の交易活動 ◇つばにえがかれた古代ギリシャの兵士 ◇アレクサンドロス大王と遠征

	<p>の仕組みにおいて特徴があることに気づき、現代にも通じる民主政や共和政、帝政などが生まれてきたことが分かる。</p> <p>☆ギリシャ文明 ☆ポリス ☆民主政 ☆アレキサンドロス大王 ☆ヘレニズム ☆共和政 ☆ローマ帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャでは市民全員で話し合う民主政が行われた。 ・芸術や哲学、数学、医学が発達した。 ・アレクサンドロス大王によってギリシャ文化とオリエント文化が結びついた。 →ヘレニズム（法隆寺 百済観音像） ・ローマ帝国は地中海を中心にヨーロッパや北アフリカ、西アジアまで支配地域を広げていた。 ・貴族中心の共和政から、内乱を通して帝政へと変化した。 <p>3 全体交流後、課題についてまとめる。</p>	<p>ついて、政治の仕組みに着目して考え、表現している。(思判表)</p> <p>知識・思考＝ノート</p>	<p>◇古代ローマの支配領域 ◇コロッセオ ◇水道橋 ◇民主政 ◇共和政 ◇帝政</p> <p>これまでの文明と比較すると共に、政治の仕組みに着目して考えられるように指導する。</p>
<p>5 宗教のおこりと三大宗教</p>	<p>古代の世界にどのような宗教がおこったのかを調べることを通して、仏教、キリスト教、イスラム教の三大宗教が生まれたことに気づき、それぞれの宗教の特色を理解することができる。</p> <p>☆宗教のおこり ☆仏教 ☆シャカ(釈迦) ☆キリスト教 ☆イエス ☆イスラム教 ☆ムハンマド ☆各宗教の発祥地</p>	<p>1 知っている宗教について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教(曹洞宗, 臨済宗, 浄土真宗・・・) ・キリスト教 ・イスラム教 ・天理教 ・神道 ・ヒンドゥー教 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>古代にはどのような宗教がおこったのだろうか。</p> </div> <p>2 古代におこった宗教について調べる。</p> <p>[仏教] 教え:「経」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドが発祥。シャカの教えが仏教として東南アジアや中国、日本へと伝わった。 ・発祥地のインドではヒンドゥー教が広まった。 <p>[キリスト教] 教え:「聖書」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジアが発祥。ユダヤ教が信仰されていた地に生まれたイエスの教えを弟子が広めた。 ・ヨーロッパや移住先のアメリカ、アフリカで広まった。 <p>[イスラム教] 教え:「コーラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラビア半島(聖地メッカ)が発祥。ムハンマドがお告げを受け、開祖となる。 ・西アジア, 北アフリカ, 東南アジアへと広まった。 <p>3 全体交流後、課題についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教、キリスト教、イスラム教の特徴を理解している。(知技) ・三大宗教が成立した地域が、古代文明が発展した地域と重なっていることを考え、表現している。(思判表) <p>知識＝三大宗教の一覧表 思考＝ノート</p>	<p>◇三大宗教の寺院と礼拝の場所 ◇シャカ ◇ボロボドゥール遺跡 ◇宗教のおこり ◇カーバ神殿 ◇十字架にかけられたイエス ◇エルサレム</p> <p>宗教の位置と発祥の時期、文明とのかかわりについて整理できるように指導する。</p>
		<p>紀元前5世紀ごろのインドでシャカが仏教を開き、苦しみを乗り越えたり、他者を救ったりすることを教え、東南アジアや中国、日本にも広がった。またパレスチナではユダヤ教を基にしてイエスがキリスト教を開き、神の存在や弱者への</p>		

		思いやりを説いた。アラビア半島ではムハンマドがイスラム教を開き、神を特に重視した教えを広めた。宗教について、説明できないことを神様に求めたり、願いを叶えてくれるように祈ったりする感覚は今にも通じている。		
6 単元のまとめ	これまでの学習を振り返ることを通して、単元の課題である、人類の文明の歴史は、どのように始まったのかについてまとめることができる。	1 これまでの学習を振り返り、単元を貫く課題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界の古代文明や宗教は、どのような地域や環境の下でおこったのか。</div> 2 文明や宗教の位置、それぞれの環境を確認する。 ・ユーラシア大陸の大河の近く、少し時代を置いて地中海周辺に文明が生まれている。共通点として生活用水がある。 ・宗教は文明の周辺で生まれている。 3 単元を貫く課題について自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを多面的・多角的に考察しながら、まとめる活動に主体的に取り組んでいる。 態度・思考・知技 ＝単元のまとめ 	◇これまでの古代文明、宗教の位置のまとめ
		<p>猿人から始まった人類は、道具や言葉を用いる中で進化し、世界各地に文明を築くようになった。エジプト、メソポタミア、インダス、中国の4つの文明は大河のほとりに発達し、都市や建造物、文字などを発展させた。また、少し遅れてギリシャやローマでも文明は発達し、民主政や共和政、帝政など様々な政治の仕組みで国を動かした。世界各地では、自然の働きから人間を超える力を感じ、宗教が生み出され、仏教、キリスト教、イスラム教が文明の近くで広く信仰されるようになった。人類は、集団で仕組みを発達させたり、同じような宗教を信じたりしながら、文明を発展させてきた。遠い昔のことだと思っていたけれど、今だって、私たちは同じ仕組みや共通した考え方と一緒に生きている。これから先の勉強も、今につながることを見いだしながら取り組んでいきたい。</p>		